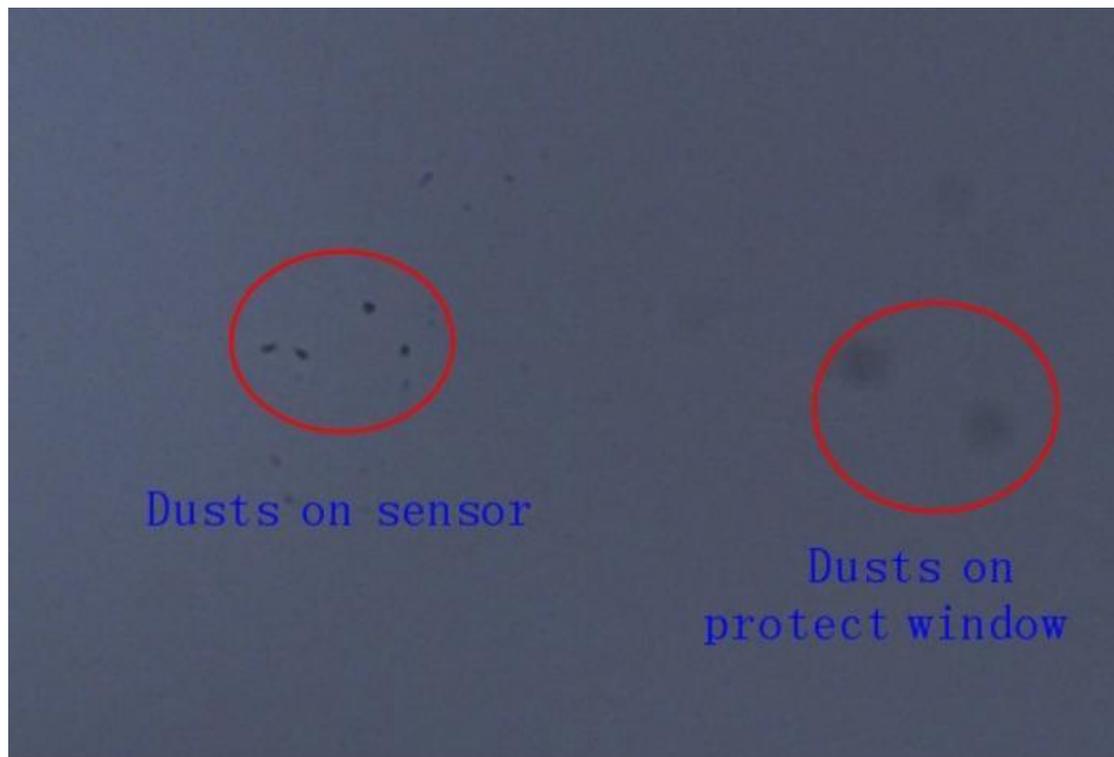


## カメラのセンサー清掃と吸湿タブレットの再乾燥手順

カメラのセンサーは保護ガラスで埃や湿気から保護されています。センサーの清掃は日中に行うことを推奨しています。センサー上の埃や汚れは、明るい方向に向け、バーローレンズを装着した望遠鏡にカメラを装着することで確認できます。カメラの露出を露出オーバーにならないように調整することで埃や汚れは下の画像のように確認することができます。



右側の大きな薄暗い点は保護ガラス上のほこりの影です。

左側の非常に小さく明確な黒い点は、センサー上のほこりの影です。

どちらに対しても ZWO 社の推奨している清掃方法は、ハンドブローで埃を吹き飛ばすものです。しかしながら、センサー上のごみやほこりを清掃するにはカメラの気密室(チャンバー)を開けなくてはなりません。

以下の手順に従い、注意深く冷却カメラを清掃してください。

## 手順 1: 道具を用意します

無水エタノール、綿棒、エアブローアールを用意します。綿棒は個装のものがお勧めです。



## 手順 2: 冷却カメラのチャンバーを開けます

1. 旧バージョンの冷却カメラの場合、筐体前面部を矢印の方向に回して取り外します。



2. 非冷却カメラも同様です

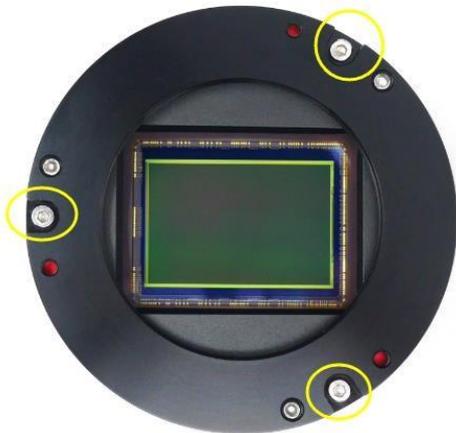


3. 新バージョンの冷却カメラでは前面にある4か所の固定用ネジを回して緩めます。

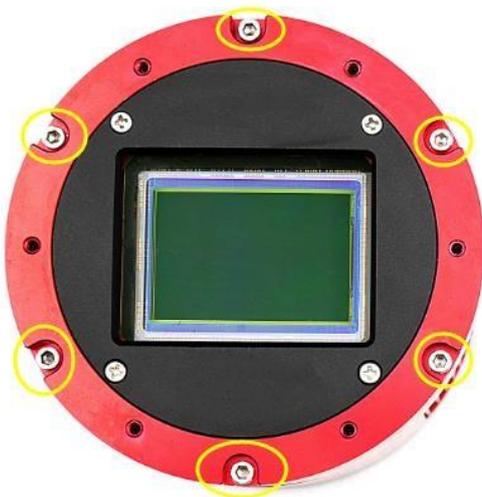


4. ASI094Pro,ASI128Pro,ASI071Pro の場合、もう一つ、チルト機構を外す必要があります。

⇒ 3か所のネジを緩めます



⇒ 次に6か所のネジを緩めます。このネジは均等に緩めるようにしてください。



### 手順 3: 前面部の取り外し

前面部のネジを取った後、取り外します。上の写真は ASI1600 です:



ASI094MC Pro の場合はこうなっています:



#### 手順 4: センサー上の埃を吹き飛ばします

エアブローでセンサー上の大きな埃を飛ばします。



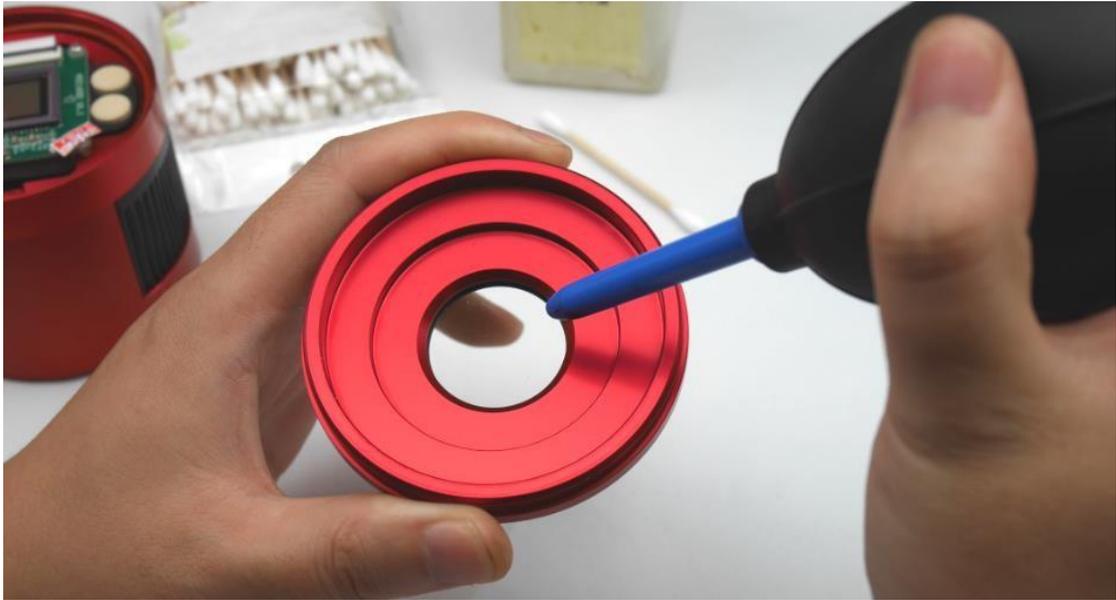
#### 手順 5: センサー上の汚れを清掃します

綿棒にエタノールを少量浸し、センサーを拭いて清掃します。



## 手順 6: 保護ガラス内側の埃を清掃します

保護ガラスの内側の埃をブローアーで吹き飛ばします。



## 手順 7: 保護ガラス内側の汚れを清掃します

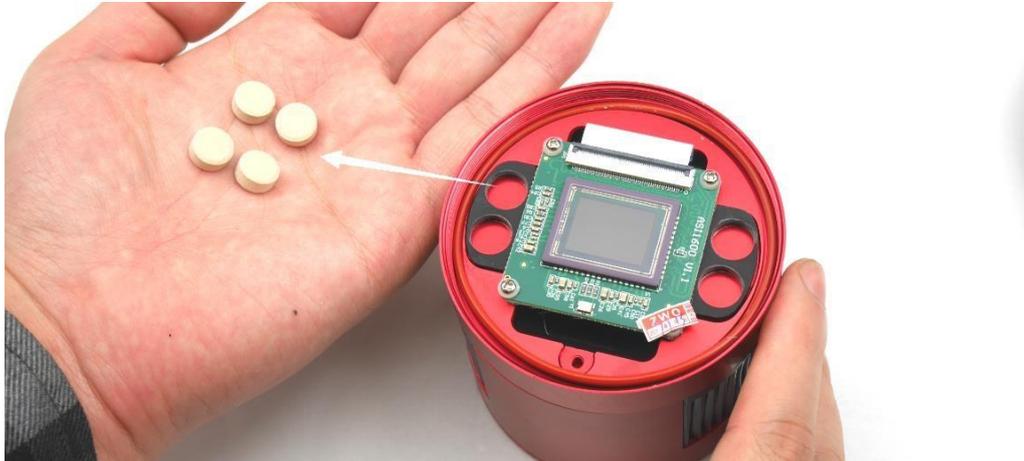
綿棒にエタノールを少量浸し、センサーを拭いて清掃します。



## 手順 8: 乾燥剤の再乾燥(結露防止)

チャンバーを開けた場合、そのまま閉じると湿気を含んだ空気がチャンバー内に入り込み、結露の原因となります。これを防ぐために、乾燥剤の交換もしくは再乾燥してチャンバー内を乾燥状態に保つ必要があります。

1. カメラから乾燥剤を取り出します



2. 電子レンジに並べて入れ、中程度で2分間熱します。



3. まだ温かいうちにチャンバー内に入れ、密閉します。



## 手順 9:できるだけ早く再密封します **reseal the chamber immediately**

乾燥剤をカメラに戻すときは、できるだけ早くチャンバーを再密封する必要があります。乾燥剤は長時間外気にさらされると乾燥能力を失います。

注意：乾燥剤を交換する際には、乾燥剤の厚みが同じであることを確認してください。万が一、新しい乾燥剤が熱すぎる場合は密閉できなくなり、強すぎる力で締め込むとセンサー基板や乾燥剤を破損する場合があります

1. 旧バージョンの冷却カメラでは前面部を反時計回りに回してねじ込むことで密閉できます。

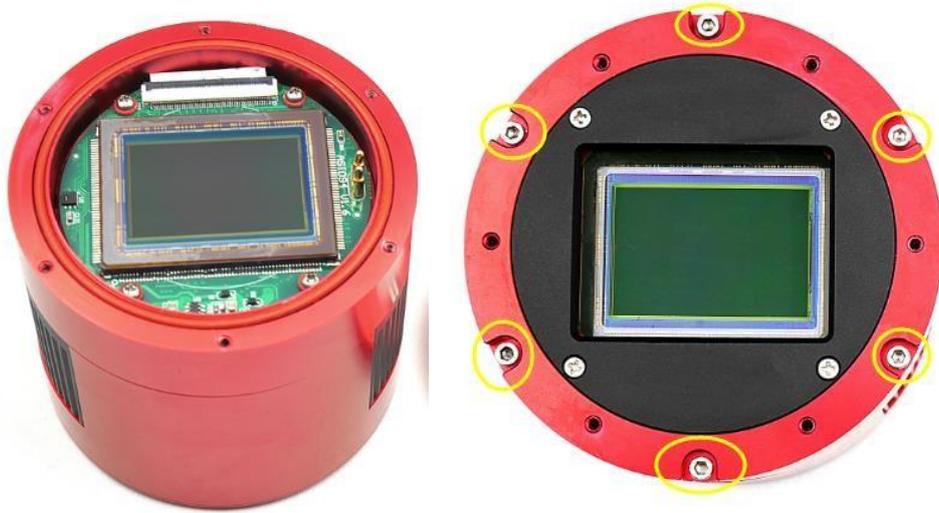


2. 新バージョンでは4か所のネジで固定します。

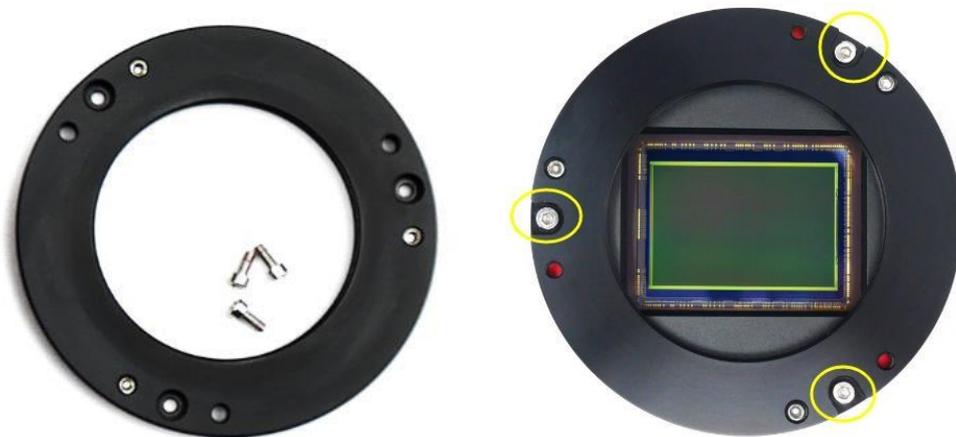


3. ASI094Pro,ASI128Pro,ASI071Pro では2ステップで密閉します。

⇒ 6か所のネジで固定します。これらのネジは均等に占めるようにしてください。



⇒ チルターを3か所のネジで取り付けます。



以上で清掃と乾燥剤の交換は完了です!